NIE実践報告

1．タイトル：新聞の活用を通して、社会的事象を見つめる児童の育成

2．学校名

岐阜県関市立安桜小学校

3．実践者名（代表者名）

原尾　智司　　後藤　秀世

4．学年

第5、6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　総合　国語　　5年34人　　6年33人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読み、グループのテーマにあう内容をまとめよう

7．目標（狙い）

新聞を活用し、そこから社会を見つめ、自分の考えをもつことで、社会に対して主体的にかかわる意欲や態度をもつことができる。

8．評価の視点

・新聞記事を読んだり、まとめたりするなど、意欲的に取り組むことができたか。
・テーマについて、掘り下げて考えることができたか。
・テーマについて、グループで話し合い、B紙にまとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・国語　3時間　　・社会　3時間　　・総合　3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1.グループごとにテーマを決める　1時間

2.記事を探し、切り抜く　1時間

3.記事を読み、まとめる　3時間

4.B紙にまとめる　3時間

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・今まで、テレビ欄程度しか新聞を読んだことがなかった児童が多くいたが、新聞実践を行ったことで、社会の出来事や政治の流れなどのニュースに関心をもつ児童が増えた。
・自主的に学習を進めたり、自分たちで内容を工夫して作品を作ったりするなど、意欲的に取り組むことができた。

12．成果と課題

[成果]
(1)意欲的に学習に取り組む児童が増えてきた
　5月と12月に行ったプレーポストテストの結果では、児童の学習に対する意欲は向上したという結果が出た。新聞を活用した学習は、自分の興味のあるテーマを追求することができるという点で、算数や国語などの普段の授業とは少し異なり、主体的に活動できる学習であり、意欲をもって取り組むことができた。その取り組みの姿勢が、他の教科に対して学習意欲の向上につながった。